

焼岳山行報告(徳ちゃん日本百名山完登達成！！)

【山行日】 2014年 9月 21(日) 快晴
【集 合】 岩舟町役場P AM 3:00
【費 用】 マイカー1台 : 4,700円
【メンバー】 CL:鈴木、 岩淵、梶内、大西、島田、
関、渡辺

【コースタイム】 岩舟町役場 P3:00=焼岳登山口
P7:30 ~ 広場 9:00 ~ 焼岳 10:20/10:40 ~ 広場
12:00/12:30~焼岳登山口 13:30=岩舟町役場 P18:00

日本百名山「百座目」登頂予定日の週間天気予報では、雨マーク。この所、私の山行は雨で変更になることが多く、「またか・・・」と心配した。しかし、3日前には曇りになり、2日前には晴れに変わり、行くことが決定した。

参加者全員で「バンザイ！」が出来るので嬉しくなる。

前の晩、早く寝なくてとは床に就くが中々眠れない。もう起きる時間、AM2時空を見上げると星が輝いている。天気は心配なし、集合場所へと車を走らせるが、いつもの運転と違う。アクセルを強く



踏んでみたり、ハンドルを曲げたりし「本当かな？」と心がウキウキ。全員、予定の時間に集合し焼岳登山口へ向かう。皆さん今朝は早起きなので、後ろの座席は運転をトモちゃんに任せ、静かに寝ていた。途中S/Aでトイレ休憩をとり、AM5:30頃には明るくなり会話も始まる。車中で朝食を摂り、周りに見える山の景色を眺めながら登山口に着いた。すでに駐車場はいっぱい、路肩にも何台か止めてある。

Uターンして少し戻り、来ながら見つけておいた路肩

の駐車スペースに車を止めた。

支度を整え、準備運動をしている最中に上を見上げると、まぶしい程の太陽が見え、何よりも私を祝福してくれていると胸が詰まった。リーダーから「今日は徳ちゃんの日本百名山完登の山」と話があり、とても嬉しく全員の安全登山を祈った。登山口から登山道に入り登山開始。大きな石がゴロゴロの急登、寝不足のせいか足が重くトモちゃんの後をついて行くのが精いっぱい。「頑張れ！徳ちゃん。」と自分を励ます。どんどん高度を上げて行き、途中何度か休憩をとり、そのたびに元気になる。

樹林帯を抜け、低木帯となり焼岳の全容が見えてきた。私の百座目の山が、光って見えてきた。辺りは秋色の様相に変わり、笹の緑、ナナカマドの赤、真っ青な空のコントラストが素晴らしい。

有難う、みんな私を祝福してくれているようで嬉しいです。ザレた急登を頑張ると南峰と北峰の間のコルへ登り上



がる。ここからは下に火口湖が見え、遠くに3年前に登った笠ヶ岳が堂々と聳えている。目の前の



噴気孔からは、真白い噴煙が凄い勢いで上がっている。その噴煙の上がる岩稜の横を気を付けて登る。ザレた岩場の急登をよじ登ると頂上に出た。ヤッター！！百座目登頂です。

トモちゃんからのサプライズの花束。福田さんが書いてくれた「百名山完登」の横断幕。岩淵さんが作ってくれた「百名山おめでとう。」の垂れ幕。みなさん有難う。

バンザイ！バンザイ！と皆さんから祝福を受け、

人生最高の幸せを感じた。記念写真を何枚も撮り、しばらく頂上で達成の喜びに浸った。絶好の天気と素晴らしい仲間たちに恵まれ、山頂からは360度の素晴らしい眺望、最高の百座目です。

今まで登った山々が見えたので、リーダーから山の名前を聞き、思い出して感無量になった。

いつまでも留まっていたい気持ちをおさえて下山する。途中の広場にて、島田さんの奥さんが今朝

作ってくれた赤飯と、トモちゃんが作ってくれたトン汁を戴き、皆でカンパニー！！。近くで昼食を食べていた登山者にも、赤飯をおすそ分けし、その人たちからも祝福を受けた。

本当にありがとう、美味しく戴きました。心もお腹もいっぱいになり、安全を心がけて下山する。

登山口に到着して、又バンザイ！！バンザイ！！関さんや岩淵さんと熱いハグを交わし大感激。

今まで山でお世話になった方々、改めて有難うござ

いました。まだまだ私の山は続きます。体力の続く限り山を楽しみたいです。これからもよろしくお願



願いいたします。

徳ちゃん記